

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09020170

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	2	林業の振興	事業優先度	B		
単位施策	2	多面的機能の発揮	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	みどりと親しむ町民のつどい		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	みどりとふれあい		関係課	#N/A		
事業目標	参加人数 70人		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	有	植樹祭の開催	関係例規・法令名	無		
住民協働			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	植樹祭の開催 植樹祭会場下刈 9.6ha	植樹祭の開催 植樹祭会場下刈 1.6ha	植樹祭の開催 植樹祭会場下刈 2.0ha	植樹祭の開催 植樹祭会場下刈 2.0ha 支柱撤去、看板設置	植樹祭の開催 植樹祭会場下刈 2.0ha	植樹祭の開催 植樹祭会場下刈 2.0ha	
	事業費(千円)	7,230	1,000	1,150	2,280	1,400	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	7,230	1,000	1,150	2,280	1,400	1,400	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	5,437	923	1,124	2,094	1,296	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	5,437	923	1,124	2,094	1,296	0	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) 植樹祭の開催 参加者数 61名 植樹祭会場下刈 1.6ha	(実施内容等) 植樹祭の開催 参加者数 64名 植樹祭会場下刈 2.0ha	(実施内容等) 植樹祭の開催 参加者数 67名 植樹祭会場下刈 2.4ha	(実施内容等) 植樹祭の開催 参加者数 50名 植樹祭会場下刈 2.4ha	
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	参加者数 70名	参加者数 70名	参加者数 70名	参加者数 70名	参加者数 70名
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	92%	98%	92%	93%	0%
		全体達成率	13%	28%	57%	75%	75%
	備考欄						

事業名	みどりと親しむ町民のつどい	評価者	管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者	作成者 職氏名	林務係長	渡部 憲一

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	植樹祭参加者数	
【抱える課題やニーズは】	自然とのふれあいや環境問題への関心が高まっている	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	植樹や育樹の緑化活動の実施	① 植樹祭参加者数÷植樹祭参加目標数	目標年度	平成28年度
			目標値	70名
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町民の緑化思想の高揚を図り、「みどり」の大切さを理解し、守り育てる	②	実績値	50名
			達成度	71.4%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①植樹祭の準備	会場の地拵を委託し、植樹用の苗木を購入した。		
	②植樹祭の実施	上幌内の北の魚つきの森で「第23回みどりと親しむ町民のつどい」を開催した。		
	③植樹祭会場の下刈、薬剤散布	過去に植樹した樹木の生育促進のため、周囲に繁茂して生育に支障となる笹・草の刈払いを委託した。過去に植樹したエゾノコリンゴへの害虫発生を防ぐため、薬剤散布を委託した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	自然とのふれあいや環境問題への関心が高まっている昨今、普段なかなか触れ合うことが少ない、「みどり」に対する意識の高揚を図るため、植樹祭を開催することは必要性が高い。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	町民の緑化思想の高揚が図られ、「みどり」の大切さを理解し、「みどり」を守り育てることに寄与した。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	会場地拵や刈払いなど、必要最小限の整備としており、事業コストは妥当である。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

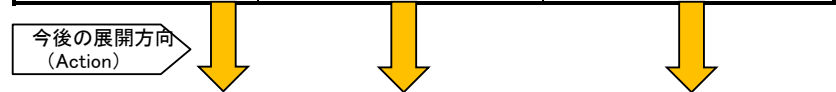
公平	判断の理由	地域住民、希望者を対象としている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
自然とのふれあいや環境問題への関心が高まっている昨今、今後も継続して緑化活動を推進していくため、計画どおり事業を進めることが適当と判断するが、周知方法などに工夫が必要である。		



継続/現状維持		
地域住民の自然保護意識、環境保全意識の高揚を図りながら、自然環境の創造に努める事業であることから、継続して実施すべき事業であり、現状維持が適当である。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 休止 廃止